

2010.9.11

## 原子力政策大綱の見直しの必要性について

フリータイム代表

山田 五月

### はじめに

<自己紹介です>

- ・子育て支援&自己啓発サークル「フリータイム」代表
- ・青森県立郷土館解説員
- ・NPO法人あすかエネルギーフォーラム会員
- ・パートナー1人と3女1男の子持ち

～嫁・妻・母・女性として忙しくも元気で楽しい青森ライフをおくっている～

### 1-2-5. 原子力と国民・地域社会の共生

- ・青森市は消費地？
- ・マスメディアに対する姿勢をもっと毅然として欲しい。マスメディアとの「共生」も目指してみてはどうか。

### 2-3-1. 地層処分を行う放射性廃棄物（1）高レベル放射性廃棄物

- ・NUMO事業である高レベル放射性廃棄物のワークショップを各地で開催。ファシリテーターとして参加。
- ・2030年代頃の処分場操業開始を目指すならば、公募という手法は無理？

### 2-5-3. 学習機会の整備・充実

- ・国民への広報や対話活動に必要なもの⇒ある程度の原子力・エネルギーへの理解
- ・小・中・高等学校におけるエネルギーの授業時間の確保を希望。
- ・「期待する」より「支援」や「協働」を！
- ・新学習指導要領では理科の時間が増える⇒エネルギーの学習チャンス！

### 終わりに

- ・原子力政策に賛成の人も反対の人も、男子も女子も、年よりも子どもたちも、どんどんこのような会に参加できるよう、もう少しの公聴・広報活動の努力を希望する  
⇒やっぱりなんといっても国民皆参加が大事！